

5. 財務状況

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比増減	分析・評価
貸借対照表	資産合計	87,700,294	87,318,282	87,672,288	354,006	(未収金)
	流動資産	23,194,703	22,812,605	23,165,986	353,381	未収金の増加については、府道八尾茨木線耐震補強工事業務による未収金の増(453百万円)が主な要因である。
	現金預金	22,852,662	22,504,342	22,371,540	△ 132,802	
	未収金	339,460	306,858	750,000	443,142	
	其他流動資産	2,581	1,405	44,446	43,041	(未払金)
	固定資産	64,505,591	64,505,677	64,506,301	624	未払金の増加については、府道八尾茨木線受託事業費による未払金の増(262百万円)が主な要因である。
	道路資産	64,498,400	64,498,400	64,498,400	0	
	有形固定資産	452	538	1,162	624	(長期借入金)
	無形固定資産	0	0	0	0	長期借入金の減少については、定時償還による政府借入金の減(567百万円)及び大阪府借入金の減(177百万円)によるものである。
	其他固定資産	6,739	6,739	6,739	0	
	負債合計	33,474,275	33,092,263	33,446,269	354,006	
	流動負債	123,635	186,511	470,370	283,859	(道路事業損失補填引当金)
	短期借入金	0	0	0	0	道路事業損失補填引当金の増加については、継続2路線の消費税を除く道路料金収入の12%(247百万円)の積立てによるものである。
	未払金	121,485	185,498	469,039	283,541	
其他流動負債	2,150	1,013	1,331	318		
固定負債	2,494,083	1,355,179	610,679	△ 744,500	(償還準備金)	
長期借入金	2,494,083	1,355,179	610,679	△ 744,500	償還準備金の増加については、継続2路線の収支差益(568百万円)の積立てによるものである。	
特別法上の引当金等	30,856,557	31,550,574	32,365,220	814,646		
道路事業損失補填引当金	19,375,153	19,562,188	19,809,229	247,041		
償還準備金	11,481,405	11,988,386	12,555,990	567,604		
資本合計	54,226,019	54,226,019	54,226,019	0		
資本金	50,016,919	50,016,919	50,016,919	0		
剰余金	4,209,100	4,209,100	4,209,100	0		

損益計算書	有料道路事業収入	2,195,255	2,146,620	2,331,244	184,624	(有料道路事業収入)
	受託事業収入	26,947	9,028	456,435	447,407	有料道路事業収入の増加については、筑面有料道路の交通量が前年度比で約6.1%増となったことによる筑面有料道路事業収入の増(171百万円)が主な要因である。
	収益	2,222,202	2,155,648	2,787,678	632,030	
	有料道路事業費(特別法上の引当金等繰入額を除く)	1,009,906	1,209,675	1,342,592	132,917	(受託事業収入)
	受託事業費	25,563	8,566	441,015	432,449	受託事業収入の増加については、府道八尾茨木線受託事業において、大阪府からの受託額が増(447百万円)となったことによるものである。
	管理費	187,984	197,833	189,425	△ 8,408	(有料道路事業費)
	道路事業損失補填引当金繰入額	238,598	232,594	247,041	14,447	有料道路事業費の増加については、筑面有料道路における情報板更新工事(182百万円)の実施等が主な要因である。
費用	1,462,051	1,648,667	2,220,074	571,407	(受託事業費)	
償還準備金繰入額	760,151	506,981	567,605	60,624	受託事業費の増加については、府道八尾茨木線受託事業に係る費用が増(432百万円)となったことによるものである。	

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。